



天神岬温泉しおかぜ荘



木戸川の鮭漁



名物マミーすいとん

笑顔と
チャレンジが
あふれるまち
ならは



Jヴィレッジ



岩沢海水浴場



木戸ダム



上繁岡大堤



こども園のイモ掘り

榑葉町

町の木：すぎ

町の花：やまゆり

町の鳥：うぐいす

マスコットキャラクター：ゆず太郎
ゆりかちゃん



○概要

<人口・町内居住者>

檜葉町人口 6,457人 (3,168世帯)
(令和6年6月30日現在)

うち町内居住者数 4,430人 (2,379世帯)
(町内居住率 68.6%)

<町民居住地分布>

県内 6,110人
(94.6%)

県外 347人
(5.4%)

いわき市 1,933人

茨城県 105人

郡山市 33人

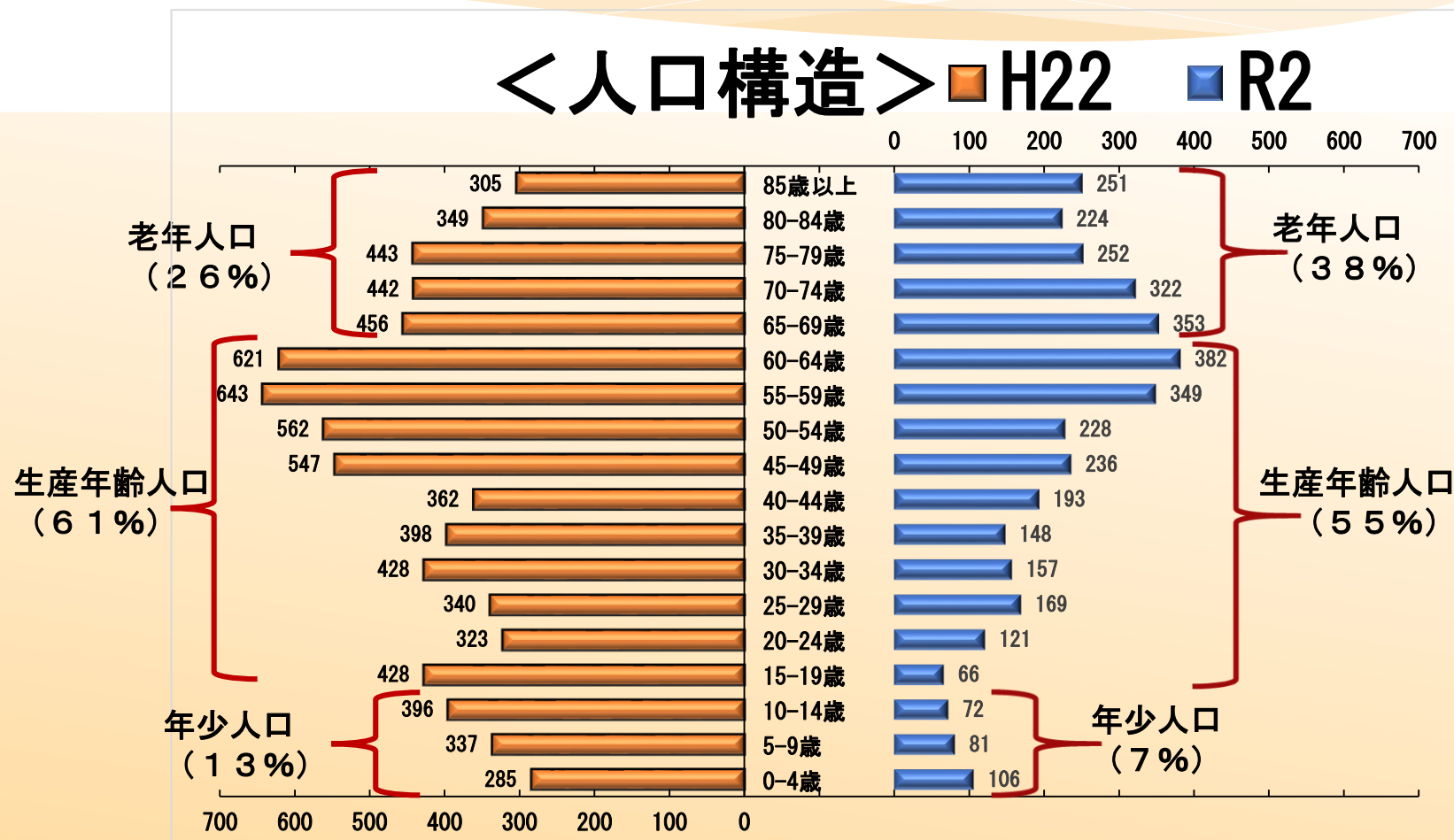
埼玉県 46人

<檜葉町位置図>



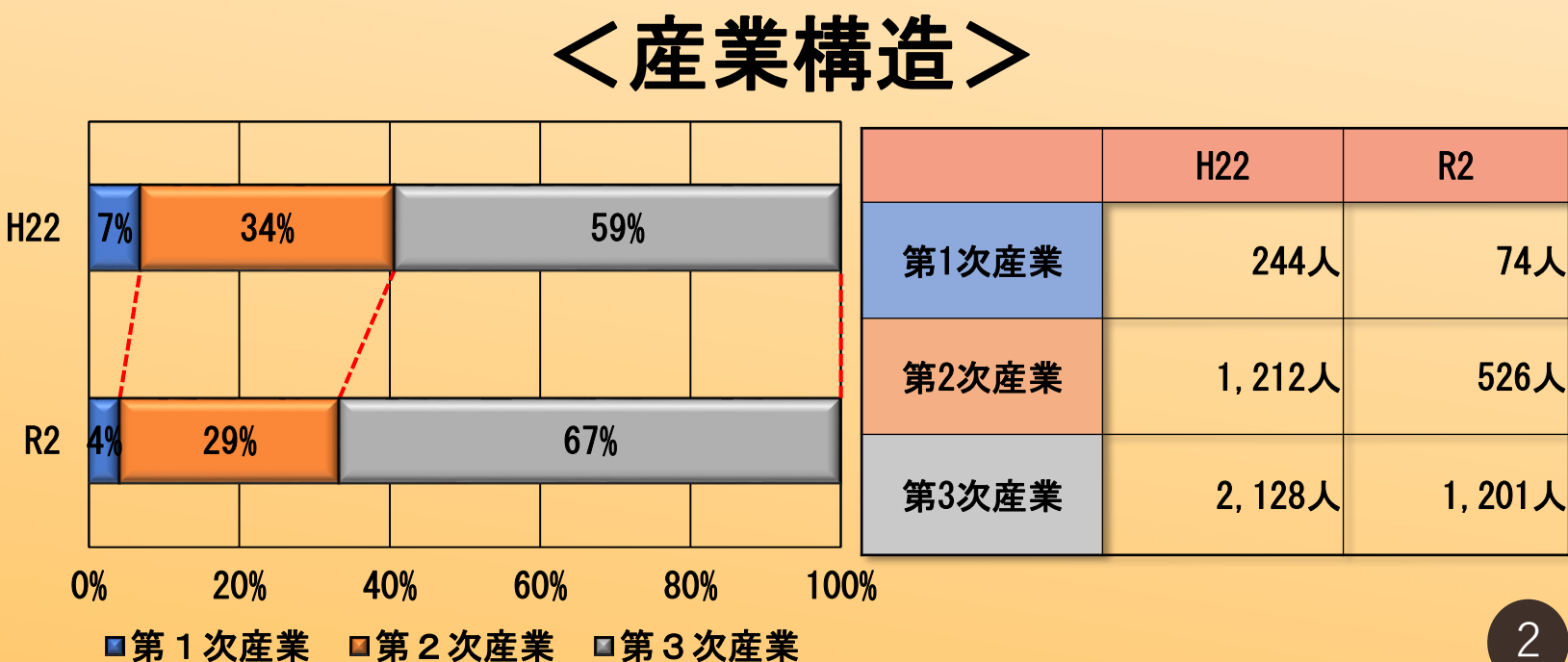
○年齢構成

- 老年人口が人口の38%を占め高齢化が進んだ。
- 「労働力」兼「消費者層」である生産年齢人口は55%と減少した。
- 檜葉町全体の人口減少と高齢化が進み、**労働力の確保が困難**である。



○産業

- 第1次産業及び第2次産業の就業者数の割合が減少し、第3次産業の就業者数の割合が増加した。
- 北産業団地、竜田駅東側事業用地及び南工業団地の整備が進められたが、**第2次産業及び第3次産業の就業者数は落ち込んだまま**である。



○笑ふるタウンならは

- ◆ 町民や町内事業者の暮らしの再生と新たな居住を促進するため、新しい生活の拠点として、**商業・交流・住宅・医療施設**等を集積。



<商業交流ゾーン>

● **商業施設「ここなら笑店街」**

平成30年6月26日オープン。年間約60万人が利用。

- スーパー・ホームセンター・飲食店・理髪店・クリーニング店・郵便局等12店舗が営業中。



● **交流館「ならはCANvas」**

平成30年7月30日オープン。

- 各種会議、打ち合せ、展示会、発表会、コワーキング等様々な催しに対応できる施設。



○笑ふるタウンならは

<住宅ゾーン>

- 災害公営住宅：140戸
- 分譲地（1工区）：18区画（戸建用）→完売
- 分譲地（2工区）：37区画（戸建用31区画、集合住宅用6区画）
→戸建用5区画販売中

➤ 坪数：約150坪、坪単価：約6万円



➤ 災害公営住宅に太陽光パネルと蓄電池を全戸に設置し、スマートコミュニティを運営。

○笑ふるタウンならは

<医療福祉ゾーン>

- 県立ふたば復興診療所（ふたばリカーレ）
- 蒲生歯科医院
- ならは薬局
- あおぞらこども園



福島県立ふたば医療センター附属ふたば復興診療所（ふたばリカーレ）



蒲生歯科医院



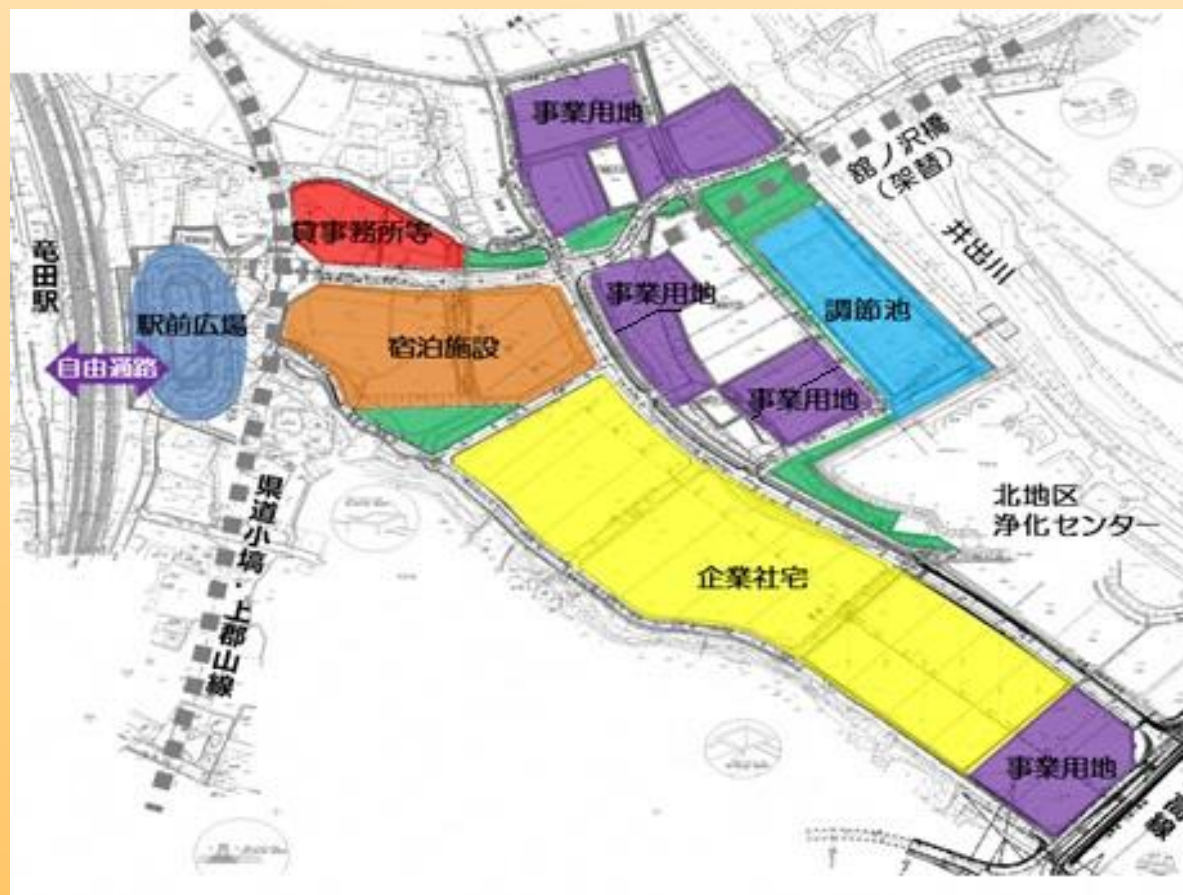
ならは薬局
公設民営の薬局



檜葉町立あおぞらこども園
幼保連携型認定こども園

○竜田駅周辺整備

- ◆ 町民や廃炉関連企業の生活・事業を支援する拠点として JR竜田駅東側を整備
- ・ 駅東西自由通路・橋上駅舎
- ・ 駅前広場：駐車場、ロータリー
- ・ 宿泊施設：**ホテル事業者を誘致中**
- ・ 企業宿舍：廃炉関係者の宿舍（350戸）
- ・ 事業用地：6事業者が操業中（設備工事業、情報通信業、運輸業等）



○学校教育の現状と取組み

- ◆平成29年4月に町内で小中学校・こども園が再開。しかし、震災前と比較すると子どもの数が著しく減少しているのが現状。
- ◆町では「**日本一の教育を提供する**」という高い目標を掲げ、魅力ある教育環境づくりに取り組んでいる。
- ◆小学校を統合し檜葉小学校として開校（令和4年4月）。

	震災前 (H22年度末)	町内再開時 (H29年4月)	現 状 (R6年4月現在)
小・中学校	686人	105人	218人
うち小学生	432人	62人	153人
うち中学生	254人	43人	65人
こども園	247人	38人	119人



檜葉小学校



あおぞらこども園

- ◆ **キャリア教育**
 - ・中学生が模擬会社を設立し、町の特産品を活用した商品の販売体験学習を実施。



東京での販売体験

- ◆ **地域学校協働センター**
 - ・地域と学校の連携・協働をシステム化して、多様な地域住民の幅広い教育への参画を実現する。
 - ・コミュニティースクールの運営。
 - ・ならはっ子こども教室、ならはっ子ネイチャーサタデー等の体験活動を行う。

- ◆ **ICT教育の充実**
 - ・タブレット端末や電子黒板を活用した授業、ICT支援員の配置等。

- ◆ **英語教育の充実**
 - ・ALTの配置、フリティッシュヒルズ語学研修等。
 - ・こども園年長児から英語教育。

- ◆ **その他**
 - ・就学支援（学用品費等の補助）、自校給食、図書室支援員の配置等。

○生涯学習の推進

<活動サークル>

● モノづくり

- わらじ組、和布細工工房ほのぼの、藍染会、絵手紙教室
たんぽぽ、ちくちく会（パッチワーク）

● 踊り

- 天神龍舞（よさこい）、華鶴会・紫扇会（日本舞踊）、
DANCE PLACTICE・ダンススポーツ（社交ダンス）、
スポーツ民舞

● その他交流

- なにかし隊、天神太鼓、老人クラブ連合会、婦人会、
ほつつあれDEいいんかいっ？！



<市民講座>

- 書道講座
- 歴史講座
- 詩吟講座
- スコップ三味線講座
- 心に響くハーモニー（合唱講座）
- 落語は人生！（落語講座）



○健康増進とスポーツ振興

＜スポーツ大会・合宿誘致＞

- 高機能なスポーツ施設（Jヴィレッジ、ならはスカイアリーナ、総合グラウンド）を活用し、プロ・アマの大会・合宿を誘致。



ならはスカイアリーナ内観 プール、アリーナ



福島レッドホープスの合宿風景



野球場



多目的運動場



トライアスロン パラリンピック強化選手の合宿

＜町民スポーツ・スポーツ少年団＞

- 町内スポーツ施設（ならはスカイアリーナ、野球場、陸上競技場等）を活用し、スポーツイベントを実施。
- スポーツ少年団（野球、サッカー、バレーボール、バスケットボール、剣道）の活動を推進。



福島ファイヤーボンズとのバスケット交流教室



＜スポーツ合宿の実績＞

	利用者数
R4	3,239人
R5	3,654人



スポーツ教室

○農業再生の取組み

- ◆町の基幹産業である農業の再生は、町の復興に不可欠であり、農業者の営農再開を支援するとともに、収益性の高い新しい作物にも挑戦。
- ◆特に「**サツマイモ**」に力を入れており、一大産地化を目指している。

<営農再開状況>（令和5年度見込み）

- **水稲**：61戸、327ha作付（震災前：555戸、約440ha）
⇒令和4年度全量全袋検査結果：6,745点全量測定下限値（25Bq/kg）未満
- **畑作**：**サツマイモ45戸1法人、56.5ha作付**
玉ネギ3戸、2.7ha作付
- **花き**：トルコギキョウ、ユーカリ等11戸、6.2ha作付
- **畜産**：酪農牛1戸、147頭
繁殖牛4戸、175頭
（震災前 約43戸、約450頭）
- **施設園芸**：トマト（大玉）1戸、1.1ha



サツマイモ収穫の様子

○農業再生の取組み

＜農業用施設の整備＞

- カントリーエレベーター
 - ・ 収穫後の粃を乾燥→精選→貯蔵→粃摺り→計量出荷まで一貫処理できる施設。
 - ・ 貯蔵能力は約1,000tで、約150ha分の粃を保管処理できる。
- 自動ラック式米農業用低温倉庫
 - ・ 年間を通じて一定の温度で玄米を保管する施設。
 - ・ 玄米を611t、約125ha分保管することができる。
- 水稻育苗センター
 - ・ 水稻の苗を育苗させる施設。
 - ・ 100haを対象として、年間2万箱を処理することができる。
- 甘藷貯蔵施設
 - ・ 国内最大級の貯蔵施設。
 - ・ 192tのキュアリング能力、最大1,260tの甘藷を保管することができる。
- 特産品開発センター
 - ・ 六次化に向けた商品開発を行う施設。
 - ・ 延べ床面積490.24㎡。甘藷、柚子、米粉等の農作物を加工処理できる設備を設置している。



カントリーエレベーター・
自動ラック式米農業用低温倉庫



水稻育苗センター



甘藷貯蔵施設



特産品開発センター

ならは創生MAP



ならはスカイアリーナ

- 平成31年4月14日オープン
- 体育館、屋内プール、フィットネスジム、キッズルームを有する



多目的運動場

- 令和6年6月2日オープン



ならはスマートI.C.

- 平成31年3月21日供用開始
- 地域経済の活性化、避難経路の確保、救急救命活動の向上



笑ふるタウンならは

- 災害公営住宅140戸ほか宅地分譲地を販売中
- 商業施設は、平成30年6月26日オープン
- ふたばりカーレ（診療所）、蒲生歯科医院、薬局が開業



ならはCANvas

- 平成30年7月30日オープン



道の駅ならは

- 平成31年4月25日リニューアルオープン
- 温泉保養施設とフードコートを有する



カントリーエレベーター

- 平成31年4月16日完成
- 米の乾燥、貯蔵、調製、出荷までを一貫して行う
- 300ha分の水稻を処理できる



水稻育苗センター

- 平成31年4月16日完成
- 良質な苗を育て農家に販売支援を行う
- 100ha、2万箱の処理能力を有する



木戸川の鮭漁の再開

- 平成28年度に鮭ふ化施設を復旧し稚魚の放流を実施

木戸川の鮎釣りの再開

- 令和3年7月4日に11年ぶりに解禁



檜葉南工業団地

- 新たな企業の誘致
- 檜葉遠隔技術開発センター



Jヴィレッジ駅

- 令和2年3月14日常磐線全線開通



甘藷貯蔵施設

- 令和2年9月14日供用開始
- 特産品開発センター
- 令和5年4月28日供用開始



竜田駅周辺整備

- 竜田駅東側
 - ・ 東西自由通路・橋上駅舎を整備
 - ・ 駐車・乗降場がある駅前広場を整備
 - ・ 廃炉関連事業所及び宿舍等を整備
- 竜田駅西側
 - ・ まちづくり計画の策定



檜葉北産業団地

- 新たな企業の誘致



井出川～井出地区海岸道路

- 令和2年3月8日開通



天神岬スポーツ公園

- 平成28年3月遊具リニューアル



天神温泉しおかぜ荘

- 平成27年9月再開



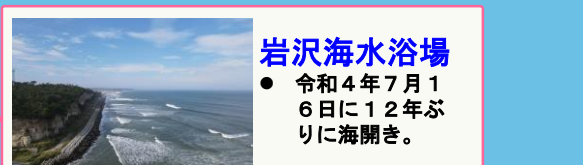
浜街道（県道）

- 令和2年3月8日開通



Jヴィレッジ（サッカーピッチ11面、ホテル等）

- 平成30年7月28日に一部営業再開。同年9月に全天候型練習場オープン
- 平成31年4月20日全面再開



岩沢海水浴場

- 令和4年7月16日に12年ぶりに海開き。